



楠 明廣 議員
AKIHIRO KUSUNOKI



地域活性化及び少子化・人口減少対策について

不妊に悩む夫婦に対する先進医療の助成について

問 東京都のような不妊治療に係る先進医療費の助成について検討できないか。

答 本市では、一般不妊治療は1年度5万円を限度として、さらに特定不妊治療を受けられた夫婦に1回5万円、1年度内3回を限度に、保険適用の有無にかかわらず助成している。

一方、県は、特定不妊治療のうち保険診療と併せて実施された先進医療に対し、1回3万円の助成が行われ、先進医療を受けられた夫婦は、市と県の助成を併せて受けることができるものである。

問 どのくらいの方が助成を受け不妊治療されているのか。

答 令和7年度助成見込件数は、特定不妊治療が116件、一般不妊治療が65件である。妊娠に至った方は、令和6年度で特定

不妊治療が61人に対し52人、一般不妊治療は55人に対し24人である。

龍野IC周辺まちづくり事業

問 龍野IC周辺まちづくり事業でどのような会社や店舗が入ってくるのか。

答 昨年12月に帝国電機とハローズが土地区画整理組合と合意したところである。ハローズの敷地には、ハローズがホームセンター、衣料店、飲食店等の店舗を呼び寄せ、賑わいの創出を図ることとしている。

問 店舗の進入路はどうなるのか。

答 ハローズの予定地は龍野中央幹線の西側で、区画整理内に新設する2車線道路からの進入路を含め4方向から進入できる店舗の配置となる予定である。



その他の質問事項

- 芝田から下野田までの揖龍南北幹線道路沿いにおける総合体育館等の建設について
- 龍野ショッピングを中心とした地域活性化策の進捗状況等について
- A-10ポットによる行政サービス新番橋の道路改良について
- 市イベントのシャトルバス運行

今後の市政と安心・安全なまちづくりについて

市の財政について

問 県が起債許可団体になった。金利の上昇と債務残高が原因とされている。本市においてこれらの影響はないのか。またどんな課題があるのか。

答 既発債については固定金利で影響は少ないが、今後発行する市債の償還には影響が出る。また、民間企業の投資抑制などで法人市民税や固定資産税の減額も懸念されるが、実質公債費比率や将来負担比率は健全な範囲で推移しており、中期的な将来に向けても財政の硬直化に影響することは少ないと考えている。今後は県の補助事業等に注視していく。

安心・安全な教育施設整備と教員配置について

問 御津中学校の老朽化にもなう整備方針・用地整理事業が計画されているが、どのような方向性なのか。



三木 浩一 議員
KOICHI MIKI



答 老朽化が進んでいる校舎について、耐力度調査と用地整理事業の結果をもとに、現在の敷地での改築・改修を予定している。

問 揖保川地区の統廃合についてはどうなっているのか。

答 河内小適正規模・適正配置協議会の「神部小との統合は見送る」「必要な時期に検討するべき」との答申により現状での教育活動を継続している。引き続き児童数の推移や保護者・地域住民の声に耳を傾けながら検討していく。

問 増設されるサポートルームや課題解決のための担当教員の市費での配置についてはどうなっているのか。

答 県費・市費で様々な加配をしており、サポートルームに於いても状況に応じた配置をしている。

その他の質問事項

- 民法改正による共同親権にもなう課題について
- 龍野インター周辺道路の整備と乗り合いタクシーの利便性向上について